

2024年度日本パグウォッシュ
会議公開講座

ZOOM
ウェビナー
開催

参加費無料

第2回

核時代における非戦

核時代を考える：映画『オッペンハイマー』
で描かれたこと、描かれなかったこと

第2回 開催趣旨

映画『オッペンハイマー』（クリストファー・ノーラン監督、2023年）の観客動員数は100万人を超えています。同映画は原爆実験について世界中の人々が考える「効果」があったといえます。しかしながら、映画ではオッペンハイマーは広島・長崎の惨状は見えない設定になっており、原爆、そして水爆によるフォールアウトも描かれていません。もう一人の主人公ともいえるストローム原子力委員会委員長もオッペンハイマーを追及・追放した人物として描かれる一方で、水爆実験の責任者として被災者を軽視した人物としては描かれていません。核時代を考えるにあたって、同映画の影響力を考えると、多層的に検証する必要があるのではないのでしょうか。本シンポジウムでは、核時代を表象する作品を制作しているアーティストの薦谷楽さん、原作者の一人マーティン・シャーウィン博士への取材経験のある中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター長の金崎由美さん、そしてパグウォッシュ会議評議員でもある長崎大学教授の鈴木達治郎さんに映画『オッペンハイマー』について議論していただきます。

11.8 金
10:00 - 12:00



鈴木達治郎

長崎大学教授・パグウォッシュ
会議評議員

金崎由美

中国新聞ヒロシマ平和メディア
センター長

薦谷楽

アーティスト

高橋博子

奈良大学教授・日本パグウォッシュ
会議運営委員・PRIME 研究所

お申込みはこちらから

二次元コードまたは、URLから参加申込をお願いします。

ここをクリック



https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_f3HPYtnWTOGQ9cgNAj9iw_w



共催団体

日本パグウォッシュ会議
お問合せ▶日本パグウォッシュ会議事務局 PUGWASH-
JAPAN-OFFICE@GOOGLEGROUPS.COM
世界宗教者平和会議日本委員会
お問合せ▶RFPJ-INFO@WCRP.ORG
明治学院大学国際平和研究所